

大麦特報(第4号)

令和4年3月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

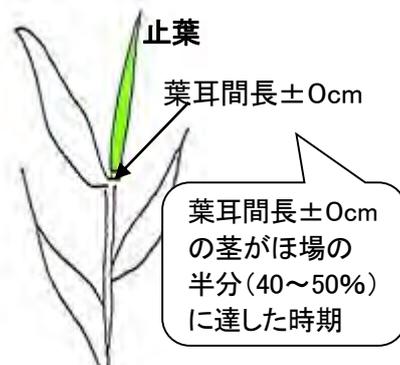
今年は積雪が多かったため、**大麦の生育は平年より2～3日遅れています**。今後の気温は平年並みからやや高めに推移すると予想されており、**止葉展開期は4月5日～9日頃**(出穂期は4月16日～20日頃)となる見込みです。
高品質・高収量の大麦を目指し、**防除や排水対策を徹底**しましょう。

1. 止葉展開期の追肥

◎分施肥系

地域や播種日により生育に差があるため、**ほ場ごとに止葉が展開したことを確認**し、生育量や葉色に応じて追肥しましょう。

※追肥時期が早いと整粒歩合が低下し、施用時期が遅れたり、
施用量が多いと倒伏や硝子粒の増加につながります。
下記の日安を参考に、適期に施用しましょう。



止葉展開期の姿

【分施肥系ほ場の追肥の日安】

追肥時期	葉色	m ² 当たり茎数	10a当たり施用量
4月5日～ 9日頃	5未満	670本未満	硫安5～10kg
		670本以上	硫安5kg 以内
	5以上	—	追肥しない

注)肥効調節型基肥
(Jコート大麦48号)
を使用した場合は、
原則追肥しない。

2. 赤かび病の防除

赤かび病は、特に**開花時(1回目)の防除が重要**です。**適期の2回防除**に努めましょう。
(下表は現時点での防除時期の日安です。ほ場ごとに必ず開花状況を確認して防除しましょう。)

	1回目	2回目
防除時期	穂揃期(開花始め) 4月19日～23日頃	1回目から7日後
粉剤	トップジンM粉剤DL 4kg/10a	ワークアップ粉剤DL 3kg/10a
液剤	トップジンM水和剤 1000倍液 150ℓ/10a	シルバキュアフロアブル 2000倍液 150ℓ/10a



赤かび病被害粒
(混入限度 0.0%)

- ※可能な限り防除効果の高い、液剤体系としましょう。
- ※防除適期に降雨が多い場合であっても、晴れ間を利用して確実に防除をしましょう。
- ※無人ヘリコプター等での散布では希釈倍率が異なるので確認してください。
- ※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、防除は風の弱い時間帯に行いましょう。

3. 排水対策の徹底

排水不良のほ場では、根張りが悪く、施肥効果が低くなります。**溝に水が溜まったまま**になっているほ場は、早急に**排水溝の手直し**を行い、排水を促しましょう。

春の農作業安全運動「しめよう！シートベルト」(4月1日～5月31日)